

令和5年2定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和5年7月5日

質問者 日本共産党 丸山 はるみ 議員

担当部課 総合政策部地域創生局地域戦略課
(保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課)

質問要旨	答弁要旨
<p>一 知事の政治姿勢について (一)道政執行方針と補正予算編成について 1 暮らしを守る対策について (1) 女性の人口流出対策について</p> <p>総務省統計によると、本道では道外からの転入超過の男性に比べ、女性は道外への転出超過であり、その差は8.3倍と、全国で最も大きい状況です。</p> <p>「北海道で働き子育てできない」と思われれば、更なる人口流出は避けられません。現状と要因を知事はどう認識し、今般の補正予算にどう反映させたのか、伺います。</p>	<p>【地域振興監】</p> <p>女性の道外への転出超過などについてでございますが、直近の本道の転出入の状況といたしましては、男女ともに20代の道外への転出が多く、就職等を契機とした東京圏への転出が、主な要因として考えられるところでございます。男性におきましては、30代以降で転入が転出を上回るなど転入超過となっている一方で、女性は道外からの転入割合が低いことから、転出超過となっている状況であります。</p> <p>また、令和4年につきましては、女性の転出超過数は全国の中でも多い状況にあり、こうした状況は、産業の担い手不足や地域活力の低下に加え、人口減少をさらに加速させる恐れがある大きな社会問題と認識しております。</p> <p>このため、道では、女性が働きやすい環境づくりや、能力を十分発揮し、安心して働くことができる雇用の実現に向けて、市町村と連携し、取り組んできたところであり、今後、より一層の女性が活躍できる社会の推進に向け、保育体制の確保や特定不妊治療費に要する経費への助成、若年層、子育て世代に向けた移住促進などについて、今般の補正予算に計上したところでございます。</p>